

新しい fablab、fablab プロジェクトを作る 議事録 by niryuu

■何をしてる人か

- 1.KMD を出た。semi.tv(街に飾ってあるフラッグやテントをレーザーカッターで加工し、カバンや iPhone のケースを作る)、ユーザーとして活用できたらいいと思って参加
- 2.同じ。どうやって semi.tv やパーソナルファブリケーションをビジネスにしていくな
- 3.ロートルプログラマ。川口で工場の機械が余ってきている。素人で活用できないか。手に付いた技術をやりたい(鋳型にものを移すテクニックとか)
- 4.芸大助手。個人で工具を持っている。シェアできないか。松戸でアトリエを作っている
- 5.芸大先端。コンピュータミュージックをやっていたが、北千住などの廃屋をスタジオやライブハウスに。松戸での活動もしている。ワークショップなど。
- 6.建築設計事務所。インドに行っていた。貧富の差が激しいから、スラムの人の暮らしぶりを見たかったり、fablab の活動を見たかった。スラムの人が現地で fablab を運営するのが夢。
- 7.SFC 卒。スマートフォンとハードを連携させたベンチャー。個人での物作りビジネスに関心。オフィスワークに疑問。いろんな人が集まる fablab に魅力。さらに、時間のある主婦などが技術力を身につけたらおもしろいことになるのでは。
- 8.早稲田情報理工助手。fablab 早稲田を企画。インフラとしても人材としても揃っている。fablab β の座を狙っている。
- 9.早稲田理工。fablab を作る話をしている。ものづくり講座は閉じており、目的があって作る人ばかり。ハードルを低くしたい。
- 10.神戸の大学で哲学をやっていた。「形は機能にしたがう」→「行為は形にしたがう」。デジタルファブリケーションの力を使わないとできないことがあるので顔を出した。
- 11.インターカルチャー。3D プリンティング。自由なデザインができることや、少量生産に可能性。サービス中心の社会の中で物作りが弱くなっている。個人のアイデアと企業の技術の交流。
- 12.インクスエンジニアリング。thinkpad のエンジニアをやっていた。技術のコモディティ化への突破口を探る。IBM で研究室を立ち上げた経験もあるので、来てみた
- 13.埼玉大学社会学。カオスラウンジ+松戸。
- 14.KMD を出てユーザーとして 3D プリンタやレーザーカッターを使っていきたい。ブラジルに帰る予定。

■ディスカッション

世界と足並みを揃えた **fablab** を増やしていきたい。ガラパゴス化は避けたい。

大学のものづくり工房（デジタルファブ리케이션センター）は **fablab** ではない。一般市民に公開されている必要がある。大学名をしよわない形にしたい。自由な交流を深め、オープンにしていきたい。

街や地域にあるが、3次元プリンタやカッティングマシンを導入していない工房は、意義があるが、それもまた **FabLab** とは違う。アメリカでは **fablab** と呼ばない別のクリエイティブスペースがあって、それはそれで機能している。地域のコミュニティスペース+ものづくり。学校、ものづくり塾のような **fablab** を名乗らないで活動しているところが多い。

fablab は世界規模のネットワークであることが重要で、少なくとも標準機材を揃えてコンパチブルにする必要がある。そのうえで、情報的、人的交流。ハブとして機能する。

日本で **fablab** を作る時の最大の問題は言語だと思っている。海外の **fablab** では、英語圏でなくても英語 **Blog** をつくって発信することが当たり前になってきている。日本でもそれができるか？

いま **FabLab** の定義や目標、ルールを作る作業をしている。ワールドカップサッカーみたいな感じ。今年中に **fablab** は 100 を越えるんじゃないか。

Q:企業も場所を公開できるのか？→できる。利用料を取るかどうかには議論がある。貧困層に門を開こうという精神がある。全部ボランティアではできないので、ビジネスとしてできるのが理想。海外では学校モデルがある。音楽教室みたいな感じでものづくり学校をやったり、国や自治体から助成金を得たり。あとは寄付。**NPO** を社会がバックアップする仕組みが重要。鎌倉でも 1 人や 2 人は雇いたい。

Q:芸大で工作室の管理をしている。3D プリンタをオープンソース化したい。マニュアルや安全面、法律面などをアマチュアで伸ばしていけたらいい。

Q:鎌倉の機材は→自腹。車買うなら **fablab** 買いたい。1 つ作らないとわかってもらえない。実際に人が来て作ったらわかる。昔「メディアセンター」ができたときもそうだった。ものづくりとまちづくりをつなげたい。**fablab** 標準機材は 6 万ドルだが、20 万円のレーザーカッターが出たり安くなっている。**fablab2.0** では自分で工作機械を作る。それができたら風土の固有性などが出てくるかもしれない。例えば漆塗りができるとか。

3D プリンタやレーザー加工機は自作できる。芸大の人が作っている。

3D プリンタで作った **ABS** 樹脂で作られたものを熱して材料として再利用する試み知識をシェアしていきたい。